

令和4年度

事業報告書



社会福祉法人 大阪市浪速区社会福祉協議会

目 次

I	法人管理運営関係	・・・	1
1	組織運営体制の強化		
	(1) 理事会・評議員等諸会議の開催		
	(2) 賛助会員の募集		
	(3) 事務局体制の強化		
2	広報研究活動		
	(1) 区社協広報誌「わになろなにわ」の発行		
	(2) ホームページや Facebook 等による情報提供		
	(3) 法人案内パンフレットの発行		
3	善意銀行の運営		
4	道尾奨学基金の運営		
5	共同募金		
6	日赤業務		
II	地域福祉活動推進関係		
1	地域福祉活動の推進	・・・	8
	(1) 地区社会福祉協議会の支援		
	(2) 浪速区居場所づくりプロジェクト		
	(3) 地域支援システムにかかる各種専門部会への参画		
	(4) 緊急食糧等給付事業		
	(5) 福祉啓発イベントの開催		
	なにわ「ふくし ふれあい広場」の開催		
	(6) 浪速区社会福祉施設連絡会の支援		
2	生活支援体制整備事業	・・・	15
	(1) ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築		
	(2) 地域資源・サービスの開発等		
	(3) 活動の場の開発		
	(4) サービス実施情報の周知		
	(5) その他		
3	高齢者、障がい者、子ども・子育て福祉活動の推進	・・・	19
	(1) 地域のサロン活動の支援		
	(2) 車いす貸し出し事業		
	(3) 障がい児親の会等のグループ活動の支援		



(4) 障がい者スポーツ推進事業の開催支援「なにわっ子パラリンピック」	
(5) 子育て支援ネットワークへの参画	
(6) その他の福祉活動	
4 ボランティア活動の推進	・・・ 25
(1) ボランティアの概況	
(2) ボランティア活動の推進	
(3) 災害に関する取り組み	
(4) 福祉学習の実施	
5 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	・・・ 29
(1) 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整理	
(2) 孤立世帯等への専門的対応	
(3) 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見	
6 地域福祉コーディネート事業	・・・ 33
(1) 実施場所	
(2) 業務内容	
(3) 相談・サポート・見守り等の実績	
7 生活福祉資金貸付事務事業	・・・ 37
III あんしんさぼりと事業（日常生活自立支援事業）	・・・ 39
IV 介護予防事業	・・・ 39
V 地域包括支援センターの運営	・・・ 40
1 包括的支援事業	
(1) 総合相談業務	
(2) 権利擁護	
(3) 高齢者支援のためのネットワーク構築	
(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	
(5) 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業を含む）	
(6) その他の取組み「わになるなにわ健康塾」	
(7) 認知症高齢者支援（認知症強化型包括）	
2 家族介護支援事業	
VI 認知症初期集中支援事業（浪速区オレンジチーム）	・・・ 48
1 認知症初期集中支援対象者	
2 会議開催状況	



3	周知活動にかかる取り組み	
4	認知症地域支援推進員にかかる取り組み	
	（1）若年性認知症等の支援困難症例への対応	
	（2）地域の認知症対応力向上にかかる業務	
VII	オレンジサポーター地域活動促進事業	・・・ 52
1	登録者数	
2	周知活動にかかる取り組み	
3	ステップアップ研修	
4	ちーむオレンジ立ち上げ・後方支援	
VIII	老人福祉センター管理運営事業	・・・ 54
1	令和4年度利用状況	
	（1）利用登録者数	
	（2）個人利用者数	
	（3）団体利用者数	
2	事業内容	
	（1）サークル活動支援などの生きがいつくり活動	
	（2）高齢者に生きがいと健康づくり推進事業	
	（3）世代間交流事業	
	（4）浪速区緑化推進事業への参加	
3	老人クラブ活動の支援と連携	
《参考》	令和3年度浪速区善意銀行事業報告	・・・ 58

令和4年度 事業報告

I 法人管理運営関係

1 組織運営体制の強化

(1) 理事会・評議員等諸会議の開催

①理事会・評議員会

開催日	会議名	内容
4.6.1	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度事業報告(案)について (2) 令和3年度決算報告(案)について (3) 令和3年度監査報告について (4) 理事及び役員候補者の推薦について (5) 評議員候補者の推薦について (6) 第1回(定時)評議員会の開催(案)について (7) 評議員選任・解任委員会の開催について (8) 諸規程の改正(案)について
4.6.16	第1回(定時)評議員会	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度事業報告(案)について (2) 令和3年度決算報告(案)について (3) 令和3年度監査報告について (4) 理事及び監事の選任について (5) 諸規程の改正(案)について
4.11.16	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度(中間)事業報告(案)について (2) 評議員候補者の推薦について (3) 第2回評議員会(書面決議)の開催について (4) 評議員選任・解任委員会の開催について (5) 諸規程の改正(案)について
		<ul style="list-style-type: none"> (6) 固定資産物品の譲渡について
4.11.29	第2回評議員会 ※書面決議	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度(中間)事業報告(案)について (2) 諸規程の改正(案)について
		<ul style="list-style-type: none"> (3) 固定資産物品の譲渡について
5.3.15	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度第1次補正予算(案)について
		<ul style="list-style-type: none"> (2) 令和5年度事業計画(案)について
		<ul style="list-style-type: none"> (3) 令和5年度収支予算(案)について

		(4) 理事候補者の推薦について (5) 評議員候補者の推薦について (6) 第3回評議員会の開催(案)について (7) 評議員選任・解任委員会の開催について (8) 諸規程の改正(案)について
5. 3. 23	第3回評議員会	(1) 令和4年度第1次補正予算(案)について (2) 令和5年度事業計画(案)について (3) 令和5年度収支予算(案)について (4) 理事候補者の選任について (5) 諸規程の改正(案)について
5. 3. 28	第4回理事会	(1) 副会長の選定について (2) 委員等(案)について

②評議員選任・解任委員会

開催日	会議名	内容
4. 6. 16	第1回評議員選任・解任委員会	(1) 評議員の選任について
4. 11. 16	第2回評議員選任・解任委員会	(1) 評議員の選任について
5. 3. 15	第3回評議員選任・解任委員会	(1) 評議員の選任について

③地区社会福祉協議会会長会

開催日	会議名	内容
4. 5. 12	地区社会福祉協議会会長会	(1) 令和3年度 地区社会福祉協議会助成金報告について (2) 令和4年度 地区社会福祉協議会助成金について

④地域福祉推進基金運営委員会

開催日	会議名	内容
4. 5. 12	第1回基金運営委員会	(1) 令和3年度「居場所づくり」プロジェクト実績報告について

		(2) 令和4年度「居場所づくり」プロジェクト応募申請について
--	--	---------------------------------

⑤資金運用委員会

4. 11. 16	第1回 資金運営委員会	(1) 経営安定積立金について
		(2) 道尾奨学金等の運用について
		(3) 事業用資金の運用について
5. 3. 15	第2回 資金運営委員会	(1) 経営安定積立金の運用結果について
		(2) 道尾奨学金等の運用結果について
		(3) 事業用資金の運用結果について

⑤善意銀行運営委員会

開催日	会議名	内容
4. 6. 1	第1回善意銀行 運営委員会	(1) 令和3年度善意銀行事業報告 (2) 令和3年度「福祉ボランティア活動応援資金」の報告 (3) 令和4年度特定テーマ「福祉ボランティア活動応援資金」の申請
5. 3. 15	第2回善意銀行 運営委員会	(1) 令和4年度 預託および払い出し状況(1月末現在) (2) 令和4年度 善意銀行(一般)の払出について (3) 令和5年度 特定テーマ：福祉ボランティア活動応援資金について

⑥道尾奨学基金運営委員会

開催日	会議名	内容
4. 5. 25 27	道尾奨学基金 運営委員会 ※書面審議	(1) 浪速区道尾奨学金の支給(案)について

(2) 賛助会員の募集

地域福祉の推進をめざし、だれもが安心して暮らせる「やさしさとぬくもりのある福祉によるまちづくり」を実現するために福祉ニーズに沿ったきめ細かい事業に取り組むための財源として賛助会員を募集。

《会費収入》

住民会費	186名	340,000円	(165名	187,000円)
団体会費	83団体	2,269,000円	(79団体	2,229,000円)
法人会費	7法人	70,000円	(5件	50,000円)
		合計	2,679,000円	

《参考：令和3年度実績》

住民会費	179名	319,000円	(141名	171,000円)
団体会費	96団体	2,200,000円	(94団体	2,180,000円)
法人会費	8法人	80,000円	(5法人	50,000円)
		合計	2,599,000円	

※（ ）内は、各連合・地区社協でご協力いただいた数字

(3) 事務局体制の強化

①事務局会議の定例開催。(月1回程度)

②事務局職員の資質向上を図るため、年間計画により専門分野・人権問題など各種研
に参加。

参加日	参加した研修等	開催場所	参加人数
4.8.16～22	第1回「大阪市社会福祉施設職員人権研修」	WEB	21
4.8.16	第1回「社会福祉施設職員人権ワーク」	WEB	2
4.9.7～16	第1回「大阪市社会福祉協議会 職員全体研修」	WEB	43
4.9.9～22	第1回「職場内研修」	区社協	30
4.9.24～30	第2回「職場内研修」	区社協	24
4.10.17～24	第2回「大阪市社会福祉施設職員人権研修」	WEB	16
4.12.12～19	第3回「大阪市社会福祉施設職員人権研修」	WEB	5
5.1.25	第2回「社会福祉施設職員人権ワーク」	WEB	1
5.2.10～3.3	第2回「大阪市社会福祉協議会 職員全体研修」	WEB	41
5.2.13～20	第4回「大阪市社会福祉施設職員人権研修」	WEB	2

2 広報研究活動

(1) 区社協広報紙「わになろなにわ」の発行

区社協の事業紹介や地域福祉活動およびボランティア活動など、地域の身近な福祉情報を区民に提供するため作成した。

発行回数 年4回（7月、9月、1月、3月）

発行部数 各17,500部

配布先 新聞5大紙折り込み、公共施設、福祉関連施設、区内学校、スーパーマーケットなどの商業施設

内容 地区社協活動の紹介、各種区社協事業、講座案内、老人福祉センター事業紹介など

(2) ホームページやFacebook等による情報提供

<https://www.naniwa-ku-cosw.or.jp/>

(3) 法人案内パンフレットの発行

区社協の事業や活動の周知を行うための法人案内パンフレットが廃止された事業が掲載されている状況であったので、現状に合わせて内容を更新した。

3 善意銀行の運営

区民からの善意の金銭や物品の預託を受け、必要としている福祉関係機関・団体等に払出しをコーディネートした。

○ 金銭関係

金銭預託件数 4件 263,000円

金銭払出件数 14件 895,000円

○ 物品関係

物品預託 4団体 車いす2台、新米、食品等

12個人 お菓子詰合せ、文房具等

物品払出 区社協(車いす貸出事業) 車いす2台

区社協(地域活動等) 文房具、日用雑貨、等

ホットサロンレインボー お菓子、おもちゃ等

内訳は<P.58~P.60>に掲載

4 道尾奨学基金の運営

平成3年に故道尾豊子さんの寄付をもとに教育の機会均等の視点から向学心に燃えながらも家庭の経済的な理由で就学が困難な学生に対し、奨学費を給付することにより学費・生活費の負担を少しでも軽減し、学業の継続を支援することを目的に道尾奨学基金を設立。平成10年より区内の中学校と連携し、新入生を対象に高等学校等への入学一時金として支給している。

平成28年度から令和3年度まで売却益により、1人3万円を支給し、就学生の支援を行っている。

〈支給対象者〉

浪速区に在住する、国公立又は私立の高等学校・高等専門学校に進学する生徒で、大阪府育英会の貸与決定者

〈令和4年度 支給状況〉

奨学費支給者数 44名 奨学費支給総額 1,320,000円

〈奨学基金管理状況〉

大和ネクスト銀行 定期預金(円定期預金)

100,000,000円(内55,000,000円) R3.12.25～新規 年利率0.15%

令和4年度末	奨学金基金	55,000,000円
	奨学金資金	12,451,739円
令和3年度末	奨学金基金	55,000,000円
	奨学金資金	13,736,604円

5 共同募金

浪速地区募金会業務の実施。募金会の運営、共同募金業務(目標額の設定・募金業務・収納送金業務等)、広報・啓発、会計を行う。

・令和4年度の募金総額：浪速地区募金会取扱い分

一般募金収入 1,189,569円

また、区社協に配分された配分金を地区社協、各種団体の活動へ助成し、地域福祉の向上に活用した。なお、各助成先の活動報告は、中央共同募金会のホームページ上で公開している。



令和4年度共同募金事業精算書

内容（交付先）		執行額	区分
	各地域高齢者食事サービス事業	464,600 円	地区助成
	地区社協事業補助金	705,400 円	地区助成
地区助成	合計	1,170,000 円	
	福祉ふれあい広場事業	19,569 円	区事業
区社協事業	合計	19,569 円	
	地域・その他特別配分金 合計	1,189,569 円	

6 日赤業務

日本赤十字社大阪府支部浪速地区業務の実施。社資の募集・収受・大阪府支部への送金等業務及び、それらに伴う事務処理を行う。

共同募金とは異なり羽根やバッジはなく、社資の受取りと府支部への送金が主な業務。

（令和4年度の社資総額） 社資収入 2,873,000 円

II 地域福祉活動推進関係

1 地域福祉活動の推進

(1) 地区社会福祉協議会の支援

地域の高齢者や障がい者、子どもなど誰もが地域の中で安心して生活できるよう地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小地域で行う体制の整備を進めている。地域福祉活動・社協活動の基本である地区社会福祉協議会事業の組織基盤強化と地域住民による主体的な福祉活動の推進のための助成を行った。また、助成に伴う事業説明会の実施、助成金の交付・精算手続きの支援、地域で実施する活動への情報提供等を行った。

令和4年度 地区社協における事業に関する助成金(区社協独自支出) 一覧表							
地区名	基本運営費	事業助成金	事業助成金 支出内訳	広報啓発助成金	敬老行事助成金	合計	
難波	¥40,000	¥20,000	—	¥20,000	¥0	¥17,650	¥77,650
元町	¥40,000	¥240,000	夜警歳末	¥40,000	¥0	¥58,500	¥338,500
			元町地藏祭り	¥40,000			
			百歳体操	¥110,000			
			花火大会・なんもど夏フェスティバル	¥50,000			
立葉	¥40,000	¥173,000	家庭菜園	¥53,000	¥0	¥15,250	¥228,250
			料理教室	¥20,000			
			立葉まつり・子どもまつり	¥100,000			
幸町	¥40,000	¥145,000	もちつき大会	¥70,000	¥0	¥60,550	¥245,550
			ラジオ体操	¥25,000			
			子ども布団太鼓祭	¥50,000			
塩草	¥40,000	¥310,000	塩草大運動会	¥275,000	¥0	¥110,750	¥460,750
			見守り・サロン活動	¥35,000			
浪速	¥40,000	¥180,000	ふれあい喫茶	¥30,000	¥0	¥91,000	¥311,000
			学習支援ルーム	¥50,000			
			百歳体操	¥100,000			
大国	¥40,000	¥448,150	百歳体操	¥158,150	¥0	¥78,300	¥566,450
			高齢者食事サービス	¥200,000			
			敬老会	¥50,000			
			歩こう会	¥20,000			
			子ども見守り隊	¥20,000			
敷津	¥40,000	¥190,000	納涼祭	¥25,000	¥0	¥28,950	¥258,950
			餅つき大会	¥25,000			
			百歳体操	¥60,000			
			ラジオ体操	¥50,000			
			映画会	¥10,000			
恵美	¥40,000	¥26,000	えみっこまつり・えみっこ花火大会	¥13,000	¥0	¥61,850	¥127,850
			喫茶サロン	¥13,000			
新世界	¥40,000	¥20,000	ふれあいコンサート	¥10,000	¥0	¥19,250	¥79,250
			ふれあいお楽しみ会	¥10,000			
日東	¥40,000	¥281,000	安全パトロール	¥78,000	¥0	¥77,150	¥398,150
			地域間活性化事業	¥50,000			
			喫茶サロン・高齢者見守り活動	¥83,000			
			子育てサロン・ラジオ体操	¥70,000			
日本橋	¥40,000	¥147,000	健康講座	¥110,000	¥0	¥86,200	¥273,200
			ふれあいコンサート	¥27,000			
			見守り活動	¥10,000			

(2) 浪速区居場所づくりプロジェクト

浪速区の住民が住み慣れたまちで孤立することなく生活していくために、これまで区内で取り組まれてきたサロンなどの住民主体の福祉活動を手本とし、地域での「居場所」、つながり・支え合いづくりを推進するもの。地域福祉推進基金を活用した助成や活動の立上げ・運営支援を令和4年度には「サロン活動」1ヶ所、「こども食堂」4ヶ所に対して行った。

【住民による主体的な地域福祉活動助成】

令和4年度は、1ヶ所のサロン活動の立上げに対し活動助成・運営支援を行った。

敷津東住宅振興町会

「喫茶サロン 赤とんぼ」

～市営住宅の集会所が地域の通いの場に～

開始年月 令和4年9月

実施主体 敷津東住宅振興町会

協力 敷津連合振興町会

実施日時 毎月第3金曜 午後2～4時

支援内容 活動助成・運営(開設)支援



【たべる・あそぶ・まなぶ 浪速区こども食堂】

令和4年度は、4ヶ所のこども食堂に対し活動助成・運営支援を行った。また、大阪市社会福祉協議会が実施し、企業からの物資提供や体験活動等のマッチングが行われる「地域こども支援ネットワーク」の物資提供や研修参加等の支援も行った。

大国こども食堂まんぷく

～ご近助の力で、こどもたちの見守りを～

開始年月 平成28年9月

実施主体 大国こども食堂実行委員会

協力 大国連合振興町会、大国地区社会福祉協議会、
大国小学校

実施日時 毎月第3水曜 午後4時～5時

支援内容 活動助成



浪速こども食堂チェリー

～地域・学校・行政の連携でこどもの生活に寄り添う～

開始年月 平成28年9月

実施主体 浪速地区社会福祉協議会、女性部、民生委員児童委員、防犯委員、青少年指導員、学習支援ルームコスモス卒業生ほか

協 力 浪速地域ボランティア、栄小学校、浪速区役所、浪速警察署、吉本興業(株)、おおさかパルコープ、ライフビオラル靱店、(株)オズマピーアール、こどもの居場所サポートおおさか

実施日時 毎月第1・3水曜 午後5時半～8時

支援内容 活動助成



浪速区青指こども食堂

～中学生が気軽に集う憩の場～

開始年月 平成30年3月

実施主体 浪速区青少年指導員連絡協議会

協 力 ドン・キホーテ新世界店、関西電力(株)、十一会、ケイビーカンパニー(株)、(株)楽市楽座、(株)蓬莱本館インベナジー・ジャパン

実施日時 原則毎月最終日曜 午前11時～午後3時

支援内容 活動助成



敷津こども食堂わいわい

～子どもも大人も一緒に集える居場所～

開始年月 平成30年11月

実施主体 敷津こども食堂実行委員会

(敷津地域子ども会・敷津連合振興町会)

協 力 のんき亭、十一会

実施日時 原則毎月第3土曜 午前12時～午後3時

支援内容 活動助成



(3) 地域支援システムにかかる各種専門部会への参画

地域自立支援協議会	(区役所主催) 年間1回参画
地域ケア会議	(地域包括支援センター主催) 随時参画
障がい者・高齢者虐待防止連絡会議	(区役所主催) 年間1回参画

(4) 緊急食糧等給付事業

本会が実施する事業の中で、生活上の困窮状況等を把握した方に対し、食料などの生活に必要な現物(以下「食糧等」という)を給付することにより、各事業での対象者への生活支援の一助とすることを目的として実施。

【対象者】他の福祉サービス等利用を優先しても利用が見込めない等、おおむね以下に該当する場合に、関係機関の協議を経て、区社協支援担当者会議により対象者の決定を行った。

- (1) 区社協が運営する事業にて困窮状況を把握した方
- (2) 区社協が運営する事業にて生命維持が困難であると疑われる方
- (3) 区社協が運営する事業にて虐待状態にあることが疑われる方
- (4) 区社協が運営する事業にてセルフネグレクトが疑われる方
- (5) この事業を活用することにより、他の福祉サービス等の利用が将来的に見込める方

(5) 福祉啓発イベントの開催

なにわ「ふくしふれあい広場」の開催

※コロナ禍により飲食コーナーのコーナーを除き開催した

開催日：令和4年10月15日(土) 午後12時30分～午後3時

場所：浪速スポーツセンター3階体育場

参加人数：約370名

内容：舞台出演(マジック・歌謡コンサート・手話歌体験・交流会)

福祉体験(手話教室・点字体験)

コーナー(手作りおもちゃ・作品展示・フリーマーケット・・・マッサージ

バルーンアート・子どもの遊具・ネイル体験・えほんの読み聞かせ

防火防災・フードドライブ受け取り・介護相談 他)

主催：浪速区社会福祉協議会

参画：約30団体(施設・個人・ボランティアグループ他)



「天童よしみ」そっくりさん
歌謡コンサート



高齢者の作品展



福祉ネイル体験



障がい児を持つ家族の会



えほんの読み聞かせ



フリーマーケット

(6) 浪速区社会福祉施設連絡会の支援

41の施設・事業所で構成される「浪速区社会福祉施設連絡会」の事務局として、連携支援を行った。令和4年度もコロナ禍により、例年よりも縮小しての活動となった。オンラインツールのZOOMを活用し、総会(1回/年)、幹事会(6回/年)、定例会(4回/年)、合同学習会(1回/年)を開催した。また、参加施設の要望に沿った運営を心掛け、浪速区内の現状を把握するための勉強会や福祉職場における人材確保についての講習会、福祉避難所などの防災に関する勉強会を開催した。更に定例会では、それぞれの施設の感染対策などの情報交換会や浪速区内の施設見学会などを実施し、施設職員が交流を図る機会を提供した。

○年間活動内容

月 日	内 容
4. 5. 10	<p>幹事会（ZOOM・来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の活動報告（案）について ・令和4年度の活動計画（案）について ・総会の開催について ・その他情報交換 <p>参加施設：9施設 参加者：11人（ZOOM：2人 会場：9人）</p>
4. 6. 15	<p>総会（ZOOM・来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の役員および幹事について ・令和3年度の活動報告について ・令和4年度の活動計画について ・施設連絡会加盟施設 登録一覧表 <p>案内施設：14施設 参加者：16人（ZOOM：7人 会場：9人）</p>
4. 6. 15	<p>幹事会（ZOOM・来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の施設連絡会の活動について ・施設職員交流会について（中止決定） <p>参加施設：7施設 参加者：8人（ZOOM：2人 会場：6人）</p>
4. 8. 17	<p>定例会（ZOOM・来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浪速区の地域の現状及び地域活動について ・浪速区防災事業について ・生活困窮者レスキュー事業について ・その他情報交換 <p>参加施設：17施設 参加者：21人（ZOOM：10人 会場：11人）</p>
4. 8. 17	<p>幹事会（ZOOM・来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（10月について） ・定例会（1月について） ・その他情報交換 <p>参加施設：10施設 参加者：12人（ZOOM：5人 会場7人）</p>
4. 10. 13	<p>定例会（ZOOM・来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉職場における人材育成について ・その他情報交換 <p>参加施設：13施設 参加者：16人（ZOOM：4人 会場：12人）</p>

	<p>幹事会（ZOOM・来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（10月）について ・定例会（1月）について ・定例会（3月）について <p>参加施設：10施設 参加者：12人（ZOOM：2人・来所：10人）</p>
4.10.15	<p>ふくしふれあい広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくしふれあい広場の縮小開催 <p>参加施設：7施設</p>
5.1.18	<p>定例会（来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所について ・施設見学会（そんぽの家） <p>参加施設：8施設 参加者：15人</p>
5.1.18	<p>幹事会（来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（3月）について ・幹事改選について <p>参加施設：6施設 参加者：9人</p>
5.2.2	<p>一水会・区社会福祉施設連絡会合同学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同学習会 <p>参加施設：3施設 参加者：4人（ZOOM：1人 会場：3人）</p>
5.3.16	<p>定例会（ZOOM・来所）</p> <p>”・今年度の事業所の取組み報告 （Withコロナでの課題や進化したことについて）”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所について（浪速区の福祉避難所の実態） ・全体共有、まとめ、その他情報共有等 <p>参加施設：14施設 参加者：17人（ZOOM：3人 会場：14人）</p>
5.3.16	<p>幹事会（ZOOM・来所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の活動報告（案）について ・令和5年度の活動計画（案）について ・総会の開催について ・その他情報交換 <p>参加施設：7施設 参加者：10人（ZOOM：0人 会場：10人）</p>

2 生活支援体制整備事業

平成29年11月より開始。高齢者が地域でいきいきと健康に暮らし続けるための場づくりにかかる立上げ支援・連絡調整、情報提供等を行う。そのために生活支援コーディネーター（SC）が配置され、「協議体」の開催等により、専門職及び行政・関係機関と連携し、取り組んでいる。また、他部署や関係機関との連携強化を目指し、独自事業への取り組みや、情報共有のための会議等を開催している。

また、令和3年度より生活支援体制整備事業の強化として、既存の生活支援コーディネーター（第1層生活支援コーディネーター）に加えて、第2層生活支援コーディネーターが配置された。

（1）ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

【内 容】第1層・第2層協議体、地域福祉サポーター連絡会、地域資源の把握、Happyの地域アセスメント機能を活用した地域資源の整理等

◆「第2回生活支援体制整備事業協議体会議（第1層）」の開催

※第1回目は、令和4年8月25日（木）に開催し、「中間報告」にて報告済み

開催日時 令和5年1月19日（木）午後3時半～4時

開催場所 浪速区社会福祉協議会 2階多目的室

内 容 令和4年度の取り組み状況について（一部抜粋）

- ・敷津東住宅ミニサロン
- ・いろどりファームなにわ
- ・スマホマスター養成塾フォローアップ
- ・買い物支援

浪速区内における生活支援および課題について（アンケート）

（2）地域資源・サービスの開発等

【内 容】新規立ち上げ・既存資源の拡充、既存資源への継続支援、講座開催等

◆買い物支援～移動スーパー“とくし丸”への取り組み～

（新規立ち上げ・既存資源の拡充）

昨年度、浪速区社協内で各地域の地域資源調査を行っている浪速地域において買い物できる場所が少なく、高齢者の方が自力で買い物をすることがむずかしいという課題があがった。そこで、浪速地域において移動スーパー“とくし丸”を調整し、月に2回程度開催することになった。

また、浪速地域の取り組みを知った立葉地域大浪橋住宅の方より「浪速地域と同じ

ように買い物できる場所が少ないため、移動スーパーの取り組みをしたい」と支援の依頼があり、介入することになった。

【浪速地域】月2回（原則第1・3月曜日）※百歳体操終了後 午後2時～2時半

【立葉地域】週1回（原則毎週火曜日）※祝日を除く 午後2時～2時半



↑浪速地域の取り組み



↑立葉地域の取り組み

◆「楽生クラブ」への後方支援（既存資源への継続支援）

団塊シニア世代のつどいの場として活動している「楽生クラブ」への後方支援を行った。

コロナ禍の影響により活動が縮小傾向にあったが、新たにボランティア活動の拡充を見据えて認知症サポーター養成講座やステップアップ研修等の受講をされ、意欲的に活動された。



↑定例会（車いす講習会）の様子

定例会日時：毎月第1金曜日 午後4時30分～6時

開催内容：趣味活動、区社協事業への協力、ボランティア活動、情報交換等

◆日東地域LINEフォローアップ講座の開催（講座開催等）

コロナ禍において、ワクチン接種をはじめとする各種申し込みがオンラインになったことやコミュニケーションの場としてZOOMやLINEの使用が促進されるなかで、取り残される高齢者も多く、スマホやLINEの使い方を知りたいというニーズが多くあった。それに伴い、令和3年度に日東地域においても地域活動を運営するなかで、会議や情報交換をよりスムーズに行うことを目的として、LINEの使い方について支援をしてほしいとの依頼があり、講座を開催した。

今回は、令和3年度の学びをより深めるためのフォローアップ講座を開催し、少しずつ再開している地域活動の普及に向けて活用できるように支援を行った。

開催日時 令和4年11月1日(火) 午後2時～3時半
 開催内容 【実践編】〇〇を使う写真をみんなで共有してみよう！
 【おまけ編】グーグルレンズを使ってみよう
 【まとめ編】総復習(質問コーナー)
 開催会場 日東老人憩の家
 参加人数 16名



↑グループワークの様子



↑講座の様子

(3) 活動の場の開発

【内容】コーディネーター会議の開催、市営住宅にある会館使用状況の調査

◆コーディネーター会議の開催

浪速区社協内での他職種連携をより推進していくことを目標に、ボランティアコーディネーター、強化型包括担当、認知症地域支援コーディネーター、生活支援コーディネーターの4名で月1回浪速区社協コーディネーター会議の名称のもと、会議を開催することになった。

定例会日時：毎月第2金曜日 午前10時30分～11時30分

開催内容：各事業からの情報共有、事業連携について等

(4) サービス実施情報の周知等

【内容】高齢者の便利帳や広報誌の発行、SNSの活用(FacebookやLINE等)

◆「高齢者の便利帳2023」の発行

地域で取り組まれている地域福祉活動、各種相談窓口、活動拠等、高齢者の社会参加を促す情報をまとめた冊子として1,000部発行。カレンダーページを設けるなど、地域の活動者や関心のある方が手に取っていただける内容を目指して作成しており、ニーズに合った内容を更新している。



(5) その他

【内 容】各種会議への参加、まちづくりセンターとの情報交換会議の開催

◆各種会議への参加

自立支援型ケアマネジメント検討会議（月1回）

定期地域ケア会議（年2回）

認知症初期集中支援事業関係者会議（年2回）

◆まちづくりセンターとの情報交換会議の開催

令和3年度より、まちづくりセンターと区社協それぞれが持っている地域の状況や、把握したニーズ、対応に困っていること等を共有するための場として開催している。

定例会日時：第2水曜日（隔月） 午前10時30分～11時30分

開催内容：地域情報の共有、連携機関の情報交換等

3 高齢者、障がい者、子ども・子育て福祉活動の推進

(1) 地域のサロン活動の支援

①高齢者食事サービス（ふれあい型・持ち帰り・配食）

各地域の高齢者食事サービス委員会が実施主体となり実施している「ふれあい型食事サービス」事業は、高齢者と地域の人々とのふれあいを深め、閉じこもりを予防し、健康の増進を図ることを目的としている。各地域の高齢者食事サービス活動者に対して、コロナ禍が徐々に落ちつきつつある状況に合わせてたコロナ感染対策や前向きに活動していくために必要な準備や運営方法等に関する助言、広報用のチラシ作りなどの活動支援協力を行った。

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響による配食にかかる支援

○出前講座（情報提供・レクリエーションの実施など） 計54回

出前講座 地域別実施内訳

地域名	場 所	食事会	その他 (老人会他)
難 波	難波地域集会所	3回	0回
元 町	元町老人憩の家	0回	0回
立 葉	立葉老人憩の家	4回	1回
幸 町	幸町老人憩の家	6回	0回
塩 草	塩草老人憩の家	0回	0回
浪 速	浪速南公園集会所 他	—	2回
大 国	大国集会所 他	0回	0回
敷 津	敷津連合会館	4回	1回
	高岸公園老人憩の家	0回	
	敷津東住宅集会所	0回	
恵 美	恵美会館	1回	4回
新世界	新世界老人憩の家	8回	2回
日 東	日東雲井橋会館	0回	0回
	日本橋南振興町会集会所	9回	3回
日本橋	日本橋連合会館	4回	1回
	浪速区役所		1回
合 計		39回	15回



食後のレクリエーション：コロナ禍のため、教室式で、落語など工夫を凝らし実施

②ふれあい喫茶

地域で暮らす人たちが集い・交流することができる場を作ることを目的としてコーヒー・ジュースなどを100円程度で提供する「ふれあい喫茶」活動が各地域で行われている。令和4年度は、コロナ禍により地域ごとに工夫を凝らし、持ち帰り喫茶の実施や再開に向けて従事者でシミュレーションなどの活動により、従事者のモチベーションの維持を図り、再開に向けて前向きに取り組んだ。まずは、在住者を対象に実施する地域が多くあった。また、外出自粛の高齢者の定期的な安否確認を行うために喫茶サロンを高齢者食事サービスに切り替えた地域もあった。

また、自宅に閉じこもりがちで人とのつながりがなく、認知度や体力が低下した方や独居で寂しい方を対象におしゃべりサロンの開催された地域への支援も行った。

○定例の活動○

地域名	場 所	実 施 日	グループ名
立 葉	木津川コミュニティ会館	第2日曜日 午後1時半～	「チロリン村」
	立葉会館老人憩の家	第4日曜日 午後1時半～	「 憩 」
幸 町	幸町老人憩の家	第3土曜日 午後12時半～	
塩 草	塩草老人憩の家	毎月1回程度(水) 11時～	「にこにこ」
浪 速	浪速地域	第1日曜日 午前10時～	「さくら」
	ネットワーク事務所	第3水曜日 午前11時半～	
大 国	大国集会所	第1・3木曜日 午前10時～	「なでしこ」
敷 津	敷津連合会館	第4火曜日 午前10時半～	「たぶの木」
		年3回 第4火曜日 10時半～	「おやじ喫茶」
恵 美	恵美会館	第1火曜日 午後12時半～	「ほほえみ」
日 東	日東雲井橋会館	第1・3火曜日 午前11時～	「 愛 」
	日本橋住宅2号館集会所	第2日曜日 午前11時～	「あじさい」
	日本橋西住宅集会所	第3日曜日 午後1時～	「そよかぜ」
日本橋	日本橋振興町会集会所	第1・3土曜日 午後1時～	「ゲーチョコキパー」



喫茶サロン：基本、地域の方限定でアクリル板を使用し開催

③子育てサロン

区内7か所で、月1回開催されている子育てサロンは、コロナ禍により多くの場で中止を余儀なくされる状況であったが、下記の運営支援を行った。

- ・人数制限を行い、完全予約制で開催した。(予約受け入れ先を担った)
- ・区役所子育て支援室と連携し、随時、開催に係る新規情報を共有し、周知を行った。
- ・各地域で開催されている会議に出席し、感染予防対策に関する助言を行った。



会場を広い場所に変更し予約制



えほんの貸し出し始めました→



○定例の活動○

地域名	場 所	実 施 日	愛 称
難波 元町	浪速スポーツセンター 1階 難波地域集会所	第1金曜日 午前10時半～	「まんまる 🍀はうす」
幸町	幸町会館	第2水曜日 午前10時半～	「しあわせ」
塩草	塩草老人憩の家	第2土曜日 午前10時半～	「にこにこ」
浪速	浪速地域 ネットワーク事務所	第4金曜日 午前10時半～	「さくらんぼ」
大国	大国集会所	第1火曜日 午前10時半～	「ひまわり」
敷津	高岸老人憩の家	第4土曜日 午前10時半～	「ぼんぼこ」
日東	子ども・子育てプラザ	第3金曜日 午前10時半～	

(2) 車いす貸し出し事業

外出による社会参加促進や緊急対応などの理由により車いすを必要とする歩行が困難な高齢の方や障がいのある方、福祉活動の啓発を目的とする講習会を行う学校、企業等に対して車いすの貸し出しを行うことにより地域福祉の推進を図った。

実施方法 : 浪速区社会福祉協議会並びに地区社会福祉協議会で運営
 貸出人数 : 浪速区社会福祉協議会 177名
 (延べ) 各地区社会福祉協議会 77名
 (地域福祉サポーターの協力により実施)
 保有台数 : 計71台 (こども用3台含む)



(3) 障がい児親の会等のグループ活動の支援

障がいをもつ子どもと保護者の居場所作り事業「ホッとサロンレインボー」の運営支援(活動場所や遊具の提供、活動ボランティアの調整など)及び活動費に関する支援「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」申請等に係る書類の作成及び手続)を行った。

○ホッとサロンレインボーの活動状況○

開催日	場 所	内 容	参加人数
4. 4. 9	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・昼食持ち帰り)	26名
4. 5. 14	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会)	40名
4. 6. 11	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会) マジック・バルーンアート	29名
4. 7. 9	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会)	32名
4. 8. 6	浪速区社会福祉協議会	○(自由遊び・交流昼食会) 「夏まつり」: 模擬店や縁日コーナー	40名
4. 9. 10	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会)	33名

4. 10. 8	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会)	24名
4. 11. 12	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会) 遊びの男性スタッフ増加	27名
4. 12. 10	浪速区社会福祉協議会	○(自由遊び・交流昼食会)クリスマス会 ツリー作り・サンタさんからプレゼント	36名
5. 3. 11	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会)	33名
5. 3. 25	難波中公園横グラウンド	フリーマーケット開催	150名

※「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」とは？→イオンで買い物した人が毎月11日に発行される黄色いレシートを店舗に設置されている専用ボックスに入れ、その合計金額の1%をその店舗で購入ができるギフトカードとして福祉活動団体に対して提供してもらえるキャンペーン。



昼食交流



自由遊び風景



夏まつり(魚釣り)

(4) 障がい者スポーツ推進事業の開催支援「なにわっ子パラリンピック」

障がい者スポーツの紹介、並びに体験事業を開催した。

全ての参加児童が、身体を動かし楽しい時間を過ごすことができた。

開催日：令和4年12月27日(火) 午後1時30分～3時30分

参加者：4施設(児童デイ)40名(内引率者10名)・スタッフ20名 計60名

体験種目：フライングディスク・スリーアイズ・ボッチャ・ボウリング・ストラックアウト 他

最期に、参加者全員で音楽に合わせて体操。

その他：参加記念品は手作りボランティアグループ手作りの巾着・折り紙に寄付物品の鉛筆。

体験コーナーのルール指導等は、体育厚生協会及び精神保健ボランティアグループが対応。



スリーアイズ



フライングディスク



ボッチャ

(5) 子育て支援ネットワークへの参画

「なにわっ子ネット（子育て支援ネットワーク会議）」等への参画 12回

開催日	場 所	内 容
4. 4. 12	浪速区役所	「令和4年度の取り組み」について（計画） 他
4. 6. 14	浪速区役所	「なにわっ子フェスタ」の開催について 他
4. 8. 10	浪速区社協	「なにわっ子フェスタ」の内容について 他
4. 9. 6	立葉町公園	「なにわっ子フェスタ」公園遊び第1回目開催
4. 9. 14	浪速区役所	「なにわっ子フェスタ」公園遊び 第1回振り返り、及び第2回の開催について
4. 10. 26	鷗町公園	「なにわっ子フェスタ」公園遊び第2回目開催
4. 11. 9	浪速区役所	「なにわっ子フェスタ」公園遊び 第2回振り返り、及び第3回の開催について
4. 12. 8	難波中公園	「なにわっ子フェスタ」公園遊び第3回目開催
5. 1. 11	浪速区役所	「えほんフェスタ」の開催について
5. 2. 9	浪速区役所	「えほんフェスタ」の開催
5. 2. 15	浪速区役所	令和5年度「なにわっ子フェスタ」の開催に係る会議の 事前打ち合わせ会に出（4名）
5. 3. 8	浪速区役所	「えほんフェスタ」の振り返り 令和5年度「なにわっ子フェスタ」の開催について

- ・子育て関連の情報交換や子育て支援事業を協働で企画
- ・子育て支援情報紙「なにわっ子ねっと」の発行（年4回）
- ・他の子育て施設等の情報紙やマップ等の配架
- ・「親子フェスタ」の運営に係る準備・出演他協力
- ・子ども向けの寄付物品に対するパイプ役となった
→ランドセル・哺乳瓶の寄付を払い出した。
- ・サンフレンズ保育園にボランティア派遣（お正月遊び）
→令和5年1月5日開催に同行、及び遊具の貸し出し他。



出張えほんの読み聞かせ



公園遊び（手遊び）



公園遊び（ヨガ）



公園遊び（アンパンマン体操）

(6) その他の福祉活動

①実習生の受入れ

社会福祉援助技術実習（社会福祉士養成を目的に相談業務の知識と技術の習得を実践的に行うための実習）の実習生を受け入れた。

- ・ 日本メディカル福祉専門学校（1名）
- ・ 桃山学院大学（1名）

②各種助成金や補助金制度の案内・支援

地区社協、ボランティアグループ、福祉団体、福祉施設などへ活動支援の一環として情報提供。

③介護者家族の会「なでしこ」の活動支援

毎月第4火曜日に開催。地域福祉活動支援担当、地域包括支援センター、オレンジチームが専門的助言者として参画。広報誌やホームページ、Facebook等周知活動を実施。

4 ボランティア活動の推進

平成28年12月にボランティア
・ 市民活動センターと改称された。
（前身：浪速区ボランティアビューロー）ボランティアの育成、サポートを行うことで市民活動の理解、関心を高めるほか、多種多様な活動団体とのネットワークを広げている。また、地域福祉の推進を目標に様々なプログラムにも取り組んだ。

昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍の影響を受け、通常通り活動を行うことが困難な状態が続いた。しかし、「今できる形」を活動者と考えながら新たな活動の提案や活動再開支援を継続した。



(1) ボランティアの概況

①ボランティアの登録状況(令和5年3月時点)

個人登録	28名
登録グループ	8グループ（※ボランティアグループ一覧参照）
グループ活動者数	101名(延べ)

○ボランティアグループ一覧

	グループ名	会員数	設 立 年月日	定 例 会 開 催 日	主な活動日
1	点訳サークル「浪速」	11名	平成8年 4月	毎週金曜日	毎週金曜日
2	喫茶ボランティアグループ 「さくら」	11名	平成9年 3月15日	活動終了後	第2・3土曜日
3	精神保健福祉ボランティア グループ「黄色いカエル」	8名	平成11年 11月16日	第4月曜日	不定期
4	手作りボランティア 「ま〜るい会」	25名	平成14年 7月3日	第2・4 水曜日	第2・4水曜日
5	保育ボランティアグループ 「いちごみるく」	11名	平成19年 6月14日	第2木曜日	不定期
6	おれんじはあとの会	5名	平成24年 3月13日	第2火曜日	不定期
7	グリーンはあと	18名	平成29年 4月5日	不定期	ランチタイムコ ンサート実施時
8	Team MYND	12名	令和2年 1月	不定期	毎週水曜日また は日曜日

②登録ボランティアの活動状況(令和5年3月時点)

依頼件数 約163件
活動回数 約583回

③ボランティア養成講座の実施

開催回数 12回
参加者数 77名(延べ)

○ボランティア養成講座一覧

開催月	講座名	講座回数	参加者数
7月	夏のボランティア体験	7回	35名
8月	スマホマスター養成塾 フォローアップ講座	7回	12名
1月	傾聴ボランティア養成講座	3回	17名
1月	災害ボランティア養成講座	2回	13名



夏のボランティア体験

スマホマスター養成塾フォローアップ講座

④ ボランティア・市民活動への理解、関心を高めるための周知活動

区社協だより	7月号	夏のボランティア体験
	9月号	ふくしふれあい広場周知
	1月号	傾聴・災害ボランティア養成講座周知 ふくしふれあい広場報告
浪速区ボラセン だより	7月	ボランティア募集、活動報告
	9月	ボランティア募集、活動報告
浪速区ボランテ ィア・市民活動 センターパンフ レット配布	活動希望者、 事業参加者に配布	ボランティア・市民活動センターの概要パン フレットの作成

⑤ その他の支援

- ・ボランティアグループの定例会に出席し、情報の収集
- ・ボランティアグループを対象に活動場所の提供
- ・ボランティアグループ代表者会議の実施
- ・ボランティア・市民活動センター運営委員会の実施
- ・交流会の実施

(2) ボランティア活動の推進

- ①夏のボランティア体験の実施
- ②ふれあいコンサートの実施
- ③なんば de ゆかた
- ④ふくしふれあい広場の実施
- ⑤わになろなにわ健康塾への参画
- ⑥ボランティア養成講座の実施
- ⑦フリーマーケットの実施





なんば de ゆかた



傾聴ボランティア養成講座



フリーマーケット

(3) 災害に関する取り組み

①災害ボランティアセンター開設訓練の実施

日時：令和5年2月17日(金) 午後1時30分～3時30分
場所：浪速区社会福祉協議会

災害ボランティアセンターは“被災住民・被災地とボランティアを支える仕組み”として、ボランティア活動をより効果的・効率的に行うことが出来るように設置される災害復興支援に特化したものである。

今年度は、コロナ禍の影響もあり、設営訓練を行うことが出来なかったため、職員だけではなく、地域住民も含めた災害ボランティアや災害ボランティアセンターに関する講習や演習を実施し、一人でも多くの地域住民に災害ボランティアセンター運営に協力を得られる環境整備に取り組んだ。

②自助力をアップするための啓発活動の実施

「防災士と考えるわたしのプラス・マイナス」

日時：令和5年2月25日(土) 午前10時～午後4時
場所：浪速区在宅サービスセンター 2階全室

すべての区民が災害時に避難所で過ごすことはできない現実を踏まえ、自分の身は自分で守る「自助」のスキルをアップしてもらうことで災害時の被害を最小限にするための啓発活動を今年度よりスタートする。第1弾として防災備品展示、防災士による備品の解説ツアー、防災図書展、ワークショップ等を行った。

(4) 福祉教育の実施

開催日	対 象	内 容
4. 10. 15	木津中学校	世代をつなぐ地域防災訓練にて車いす体験
4. 10. 19	難波中学校	車いす体験の打ち合わせ
4. 11. 5	難波中学校	世代をつなぐ地域防災訓練にて車いす体験
4. 11. 8	難波中学校 中学1年生	身体障がいの当事者の方より、日常生活の工夫について講義及び車いす体験
5. 1. 13	難波支援学校	浪速ネットワーク事務所の清掃活動に同席
5. 1. 13	塩草立葉小学校	アイマスク体験の打ち合わせ
5. 2. 10	塩草立葉小学校 小学5年生	視覚障がいの当事者の方より、日常生活の工夫について講義及び車いす体験
5. 2. 14	難波支援学校	浪速区社会福祉協議会の清掃活動の受け入れ

※実施するにあたり、コロナ対策を徹底し、学校との打ち合わせを重ね、講師の手配や地域福祉サポーターの協力を得るなどの調整を行う。また、車いすやアイマスクなどの備品の貸し出しも行った。



支援学校清掃体験



塩草立葉小学校 アイマスク体験



当事者からのお話

5 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

平成27年度より、全市で開始。

(1) 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整理

見守り相談担当が災害時や日ごろの見守りを希望される対象者を本人同意のもとで訪問し、実態を把握したうえで登録する「要援護者名簿」を作成し、区長が認定した見守り活動を行う団体にリストを提供した。緊急事態への準備として同意の方に「そなえカード」を作成し、控えを自宅保管していただいている。また、同意書が未返信の方には訪問や電話で意向確認を行い、「要援護者名簿」の充実を図った。

【対象者】

- ・高齢者で要介護3以上、もしくは要介護2以下で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方
(※自力で立ち上がり、歩行ができない方及び身体的に何とか自力で歩行することが可能であっても、日常的に支障をきたすような認知症の症状・行動や意思疎通の困難さがあり、誰かが注意しておくことが必要な状態の方。)
- ・重度障がいのある方、難病患者の方

◆令和4年11月22日作成分「要援護者名簿」

記載者数：1,892名

提供先：各地区民生委員児童委員協議会、各地域活動協議会、各地域振町会

◆「見守りミニ講座」の開催

目的 見守り活動をより身近に感じてもらうため

開催地域 日本橋地域

開催日 令和4年6月23日

内容 (1) DVD視聴：「平時における地域の見守りの必要性と意義」
(2) 事例発表、事業説明（地域からの「気になる」の声が支援につながった事例）



◆「地域見守り会議」の開催

目的 高齢者の孤立防止のため、区役所と区社協が主催する「地域見守り会議」を協働し、地域とのつながりや見守り活動を促進する。

開催地域 大国地域・塩草地域

開催日 大国地域：令和5年2月10日（金）大国集会所

塩草地域：令和5年3月16日（木）塩草老人憩いの家

内容 (1) 講義：要援護者名簿について・個人情報の取り扱いについて
(2) DVD視聴：「平時における地域の見守りの必要性と意義」
(3) 個人ワーク：「日頃、ゆるやかな見守りができそうな人、している人、ほったらかしにしてはいけない人、訪問できそう、訪問した方がいい人、名簿には載っていないけど気になる人」を要援護者名簿に個人でチェック。
(4) グループワーク：要援護者名簿に記入した内容をもとにグループでマッピング、情報共有

参加者 町会長、女性部、民生委員児童委員、地域福祉サポーター、区役所、区社協、見守り相談室、ランチ、包括、オレンジチーム



(2) 孤立世帯等への専門的対応

社会や地域との接点を失い、孤立している方等に対し相談支援を行った。

・相談・支援者実人員 485名 (男:211名 女:271名 不明:3名)

【実人員内訳】<属性別内訳>

種別	人数	種別	人数
要介護・要支援の高齢者	204	難病	1
要介護・要支援以外の高齢者	176	ごみ屋敷	7
身体障がい者・児	39	生活困窮者	4
知的障がい者・児	10	子育て中の保護者	2
精神障がい者・児	13	その他	420
発達障がい者・児	0		

・相談支援件数 2,144件数

(訪問:280件、電話:1,239件、来所:215件、手紙・メール・FAX:118件、その他:292件)

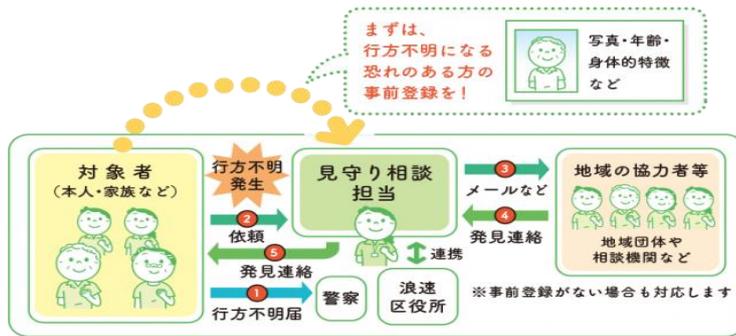
【内容別】

種別	件数	種別	件数
経済・生活問題	151	生きがいつくり	64
福祉サービス	73	虐待	4
保健・医療サービス	25	家族・家庭問題	46
介護	13	見守り訪問	1738
子育て	10	ごみ屋敷	7
就労	0	その他	281

(3) 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

認知症で徘徊のリスクがある方に事前登録をしていただき、行方不明時に区内の関係機関や鉄道などの協力者)に搜索依頼メールなどで配信し、早期発見につなげる。

- ・ 事前登録者：81名
- ・ 協力者：121名



※協力者とは

認知症高齢者が行方不明になった場合に、行方不明になった方の情報をメールやFAXで受取り、仕事などで外出した際に行方不明になった方がいないか気にかけていただける方。

◆「行方不明者搜索模擬訓練」の開催

目的 道に迷っている認知症高齢者を発見した際の寄り添った声かけ方法について模擬訓練を通して考える

開催地域 大国地域

開催日 令和4年9月5日(月)

内容 道に迷っている高齢者へ寄りそう声かけ支援体験

参加者 大国地区民生委員児童委員



6 地域福祉コーディネート事業

浪速区役所からの委託事業。高齢者や障がい者、子育て世帯等の孤立などの地域福祉課題の解決に向けて、地域とのつながりづくりや見守り体制の構築を進めるため、浪速区内10地域に地域福祉サポーターを配置し、以下の事業を実施した。

(1) 実施場所

浪速区内10地域

地域	難波・元町	立葉・幸町	塩草	浪速	大国
拠点	元町 老人憩の家	立葉 老人憩の家	塩草 老人憩の家	浪速南公園 集会所	大国集会所

地域	敷津	恵美	新世界	日東	日本橋
拠点	敷津 連合会館	恵美会館	新世界 老人憩の家	日東 老人憩の家	日本橋 連合会館

(2) 業務内容

- ① 地域の見守り活動体制をつくるための支援とともに要援護者名簿の登録者と見守り体制とのつなぎ
- ② 地域住民からの相談に応じ、必要に応じて関係機関へのつなぎ
- ③ ふれあい型食事サービス・ふれあい喫茶・子育てサロン等、地域の活動を支援・活用することによって居場所づくりやつながりづくりの促進
- ④ 地域福祉にかかる課題の把握、その他地域福祉を推進する取組みに対して支援
- ⑤ 情報及び意見交換、事務連絡、各地域の状況報告を目的とする「地域福祉サポーター連絡会」への参加
- ⑥ 地域関係会議への参加や地域団体・専門職等関係機関との双方向の情報収集や情報交換
- ⑦ 活動に有効な研修会への参加
- ⑧ 警察や消防などからの特殊詐欺等の情報を地域住民に注意喚起



月一回開催の連絡会



持帰り食事会での声掛け

(3) 相談・サポート・見守り等の実績

相談・サポート	見守り	連絡調整	情報収集
669件	28,074名	430件	853件

※その他、町会長会議をはじめ、各種会議に684回（1地域年間回程度）出席し、情報収集や地域の課題等の確認を行った。

◎業務事例集

【事例1】

＜父80歳、母71歳のご夫婦が、この先、ダウン症の息子（40歳）のことが心配との相談に対する支援！＞

40歳のダウン症の息子を持つ夫婦が来所し、「高齢である私たち夫婦がいなくなった後のことを考えると残された息子が心配」と相談があった。現在、本人は作業所に行っているが、父親が送迎をしている状況であり、本来なら、自立させないといけないと母親は言っている。

→浪速区社協見守り強化事業担当者につなぎ、親子3人全員の要援護者登録を済ませた。その後、定期的に連絡を入れている。

【事例2】

＜本人の状態に合わせた支援に向けた調整を行ったケース＞

道でAさんに会ったが、体調が悪そう（昨日も呼吸器内科の病院に行かれたと聞いていたため）であったため、声掛けを行った。肺がんを患っており、酸素ボンベが必要。生活保護は受けているが、その他の支援は受けていない様子であった。「一度、社協に繋ぎましょうか？」と提案すると「また、集会所に行きます。」との返事であった。後日に別件で社協に行った際に地域包括支援センターにAさんの件を相談し、集会所で地域包括支援センターとAさんが面談を行えるように調整した。

【事例3】

＜ゴミの不法投棄があり周辺住民が困っているためポスター掲示し被害を防いだ＞

最近、ある地域でゴミの不法投棄があり、カラスが散らかして周辺の住民が困っているとの連絡が入った。注意のポスターを作成し掲示すると次回の回収日には不法投棄がなくなっていた。その後、不法投棄について地域住民と一緒に情報を共有のうえ、再発防止に努めている。

【事例4】

＜片目を失明された方への状況確認訪問、及び今後の支援＞

Bさんが先日、片目を失明され、椅子から落ち転倒したと聞いたため、訪問した。→眼科で受診し、MRI検査等の結果、脳には異常がなかったが、片目の失

明以降は、遠近感がわかりにくくなり階段が特に怖いとのことであった。独居高齢者のため、介護保険の申請を勧めたが、近所の方の支援もあり、今のところは必要ないとのことであった。しかし、近所の方の負担増を防ぐためにサポーターとして介護保険のサービス利用支援や見守りを継続している。

【事例 5】

＜コロナに感染された一人暮らし女性の安否確認を行った事例＞

81歳で一人暮らしのBさんがコロナに感染し、詩吟教室を休まれた。一人暮らしで心配なため、安否確認のため電話を入れた。4回目のワクチン接種の予定であったが、少し熱があり、PCR検査をすると陽性とのことであった。現在、熱はないが、喉が痛くて体がだるいと言われていた。何かあればすぐ連絡するように伝えた。後日、安否確認のため電話を入れた。もう平熱で36.5度まで熱も下がり、頭痛や喉の痛みもなくなったと聞き安心した。やはり、サポーターとして高齢で一人暮らしの方なのでとても気になっていた。体調不良の間は、体操や詩吟仲間の方たちが食料を届けてくれたとのことであった。

【事例 6】

＜警察署から午前8時、Iさんが保護されていると携帯に電話が入る＞

警察署保安係から、午前8時にサポーターの携帯電話に連絡が入り、Iさんが頭に怪我をされ、病院で治療後に警察署保護しているので、家族の連絡先を教えて欲しいとの問い合わせがあった。

→Iさんの娘に連絡を入れると、夜中の2時半くらいに、自宅にいないことに気づき、警察に捜索願を出し、警察と一緒に住宅付近や公園などを探していたとのことであった。後日、ランチやケアマネにも報告し、面談機会の調整を行った

【事例 7】

＜新規の相談を包括につないだ事例＞

敷津東住宅にお住まいのMさん（74歳）から電話があり、介護認定の更新についてどうしたら良いのかと相談があった。以前に病院で腰の手術をされて歩行器を借りた時に介護サービスを受けて以来、申請していない（身体障がい者手帳は持っている）とのことであった。地域包括支援センターに連絡すると、本人宅に訪問したとの報告があった。

【事例 8】

＜食事会に来られず連絡を入れたが安否確認ができない方の対応＞

高齢者食事会に来なかったYさんに連絡を入れたが応答がないため、近隣の方で、普段から緩やかな見守りをしているTさんに、お弁当を預けて、Yさんに、届けることを依頼した。しかし、翌日にYさんが来所し、「Yさんは、ずっと留守ですよ」

とのことであつた。要援護者名簿を見ても未登録のため、かかりつけ医も緊急連絡先も不明であり、翌々にランチ職員に報告したところ、妹の連絡先が分かるとのことであつたので連絡を依頼した。

午後からランチ職員に確認の電話を入れると、自宅内で倒れておられて緊急搬送され、救急車に同乗し病院にいるとのことだった。10年前に脳梗塞を患っていたそうである。もう少し遅れていたら危険だったとのことであつた。もう少し、早くランチに報告すべきであつたと思つた。しかし、食事会を利用されていたからこそ発見につながつたため、今後、気になる独居高齢者を、地域活動に繋いでいきたいと思つた。結果、二日後にお亡くなりになられた。もう少し、早く対応していたらと悔やまれる。

【事例9】

＜入院される前から関わっていた方の退院時に付き添うが、自宅にある現金を取りに行く対応＞

以前から関わっていて、入院されたYさんが退院されることとなった。本人から、「現金を持ってきていないので自宅の鞆に入っているお金を取ってきてほしい」との依頼があつた。

→他の地域に居住されている方なので、本人自宅のある地域のサポーターに同席してもらい、自宅に入った。鞆に大金が入っていたため、一部をだけ病院に持参し対応した。他地域のサポーター同士で協力して対応できて良かった。



ボランティア会議の開催



認知症及び、独居高齢者の居場所「おしゃべり会」の開催に尽力



行事予定表の作成



7 生活福祉資金貸付事務事業

「生活福祉資金貸付制度」は、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度で、大阪府社会福祉協議会が実施主体となり、本会が貸付けのための事務窓口を行っている。

○ 生活福祉資金貸付状況

資金の種類		相談	内： 申込	承認	不承認	審査中	相談 のみ
福祉 資金	生業費	2	1	0	0	1	1
	技能習得費	3	1	1	0	0	2
	住宅増改築費	0	0	0	0	0	0
	福祉用具購入費	2	0	0	0	0	2
	障がい者用自動車費	1	0	0	0	0	1
	国民年金追納経費	0	0	0	0	0	0
	療養費	2	0	0	0	0	2
	介護サービス費	1	0	0	0	0	1
	災害臨時経費	0	0	0	0	0	0
	冠婚葬祭経費	3	0	0	0	0	3
	転宅費・給排水設備経費	8	1	1	0	0	7
	就職支度金	0	0	0	0	0	0
日常生活上必要経費	9	4	3	1	0	5	
教育支援資金	10	4	3	0	1	6	
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	
臨時つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	
総合支援資金	6	0	0	0	0	6	
緊急小口資金	38	14	10	4	0	24	
対象制度なし	76	0	0	0	0	76	
合計	161	25	18	5	2	136	

新型コロナウイルス感染症特例

緊急小口資金・総合支援資金貸付事務事業

今般のコロナ禍の影響を受け、収入が減少・失業した方のおられる世帯に対する資金の貸付制度。この特例貸付制度については令和2年3月25日から市区町村の社会福祉協議会が申請の窓口として、都道府県社会福祉協議会が審査、決定機関としてこの事業の業務を受けることとなった。浪速区社会福祉協議会もこの間、特例扱いとなったこの制度を運用してきた。

【相談・貸付状況】

(件)

資金の種類	電話相談	来所相談	相談件数合計	申請件数
緊急小口資金	416	300	716	326
総合支援資金	320	234	554	258
合計	736	534	1,270	584

令和3年度に引続き令和4年度も貸付が行われ、コロナウイルス罹患者が減少したとは言えないが、令和4年9月末でこの特例貸付制度は終了となった。

特例貸付の受付と並行してGW明けから「償還免除のお知らせ」(以下お知らせ)が大阪府社会福祉協議会(以下府社協)から借受人宛に郵送された。免除の手続きは借受人が各々でのお知らせに同封されている返信用封筒を使って申請するというしくみで、区社協を通さず、直接借受人と府社協でのやり取りであった。免除の結果通知は、令和4年9月末までに申請された方に対して11月～年末にかけて借受人に郵送された。また、年末から年明けにかけて令和5年1月～償還開始の方で免除にならなかった世帯や免除手続きを行わなかった世帯等を対象に「償還開始のお知らせ」(圧着ハガキ)が郵送された。緊急小口資金は2年、総合支援資金(初回)は10年を目安に償還していく予定であるが、償還免除には至らないものの、償還が困難な借受人世帯へのフォローアップが必要であるため、その支援の一環として、12月中旬より「償還猶予・少額返済」の業務が加わった。

浪速区のボリュームは緊急小口資金・総合支援資金(初回)の借受人世帯(令和5年1月償還開始の世帯)が8,000件に対し、免除世帯が3,500件、償還対象600件、未提出(手続きを行っていない世帯、行方不明等)3,800件で、免除世帯以外の4,500件がフォローアップ支援対象となる。また、令和6年から延長の償還が、令和7年から再貸付の償還が始まることから、この償還猶予・少額返済の制度が困窮者にとって重要であると考えられる。

Ⅲ あんしんさぽーと事業(日常生活自立支援事業)

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的として、契約意思の確認が可能な方を対象に福祉サービス等の利用援助や日常的な金銭管理サービス等の生活支援を行った。

○ 状況別対応内容 (単位：件)

	訪 問	電話・来所	利用総数
認知症等	1, 4 3 3	8 6 4	2, 2 9 7
知的障がい	4 5 3	8 4 9	1, 3 0 2
精神障がい	4 6 4	8 8 5	1, 3 4 9
そ の 他	3	7	1 9
合 計	2, 3 5 3	2, 6 0 5	4, 9 5 8

○ 状況別利用実人数

認知症等 . . . 6 6 名、 知的障がい . . . 1 8 名
 精神障がい . . . 2 1 名 合 計 1 0 5 名

Ⅳ 介護予防事業

介護予防事業は、年齢を重ねても自分らしく、できる限り自立した生活が送れるよう、生活機能の低下が認められる高齢者や閉じこもりがちな高齢者を含め全ての高齢者が介護予防に資する活動に参加し、地域の人と交流の機会を持つことで生活空間を広げ、認知機能や生活全般の活性化を図る事業である。できる限り自立した活動的な生活を送ることができるよう支援することを目的として、通いやすい地域の会館等で定期的（月1回）実施する「元気はつらつ教室（なにわ元気塾）」を実施した。各教室の開催前に、登録者に連絡を入れ参加のお誘いとお様子の確認を行い、懸念されることがあれば関係機関に報告した。また、登録者からの相談も受けて関係機関につないだ。参加者にとって定期的な通いの場として定着し、楽しみとなっている。

・元気はつらつ教室（なにわ元気塾）

登録人数 155 名 開催教室数 11 箇所 参加総数 1,295 人

開催期間 令和4年4月～令和5年3月まで



V 地域包括支援センターの運営

高齢者が地域で尊厳あるその人らしい生活が継続できるように、できる限り要介護状態となることを予防するための介護予防サービスを適切に確保するとともに、要介護状態となっても高齢者のニーズや状態の変化に応じて必要なサービスが切れ目なく提供される「地域包括ケア」体制を確立することを目的に運営を行った。

1 包括的支援事業

(1) 総合相談業務

本人、家族、近隣住民、関係機関等から浪速区在住の高齢者に関する相談を受け、適切な機関・制度・サービスにつなぐ等、解決に向け専門的な支援を行った。相談件数は年々増加しており、令和4年度は昨年度と比較して延べ件数は減少しているものの年間相談実人員は50人以上増加している。

○ 相談件数

	年間相談延べ件数	訪問	電話	来所	その他
令和3年度	8,995件	1,220件	6,461件	1,198件	116件
令和4年度	8,336件	1,076件	6,015件	1,061件	184件

	年間相談実人員	うち認知症 疑い有り
令和3年度	1,056人	278人
令和4年度	1,163人	290人

(2) 権利擁護

区保健福祉センターとともに養護者による高齢者虐待の通報・届出の相談窓口を実施。虐待の解消に向けて支援した。また高齢者虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度利用促進のための情報提供などを行った。

○高齢者虐待の受案件数 虐待受案件数：57件（うち、虐待あり16件）
虐待に関する相談延べ件数：664件

①虐待の早期発見・防止の支援体制づくり

○高齢者虐待防止のためのネットワーク強化「虐待防止講演会」

内 容：障がい者・高齢者虐待防止講演会

講演「地域で障がい者・高齢者虐待を防ぐために」

講師 大阪弁護士会 弁護士 小山操子氏

日 時：令和5年2月16日（木）

午後2時～3時30分

参加者：54名

障がい者・高齢者虐待防止連絡会議委員、民生委員、
ケアマネジャー、介護サービス事業所、地域福祉サポーター 等

②成年後見制度の利用促進

認知症や知的障がい、精神障がい等の方の権利を守り住み慣れた地域で安心して暮らせるように、「成年後見制度」活用支援を行った。

・成年後見制度に関する相談…相談実人員：22名

相談延べ件数：203件

後見申立：19名（うち市長申立16名）

○ケアマネジャーや介護サービス事業所を対象に、権利擁護や金銭管理困難ケースの対応等について研修を開催した。

テーマ：「身寄りのない認知症の方への金銭管理について」

講 師：弁護士 青木 佳史先生（きづがわ共同法律事務所）

開催日：令和4年10月20日（木）午後2時～4時

場 所：z o o m開催 浪速区社会福祉協議会2階多目的室

参加者：44名

ケアマネジャー、ヘルパー、ブランチ、区役所、あんしんさぽーと

（3）高齢者支援のためのネットワーク構築

①地域ケア会議の開催

支援困難なケースの支援方針を検討し、そのケースの積み重ねから地域課題を取りまとめ、課題解決に向けた取り組みを検討した。政策形成に生かすため、地域包括支援センター運営協議会及び地域ケア推進会議に報告。

○随時地域ケア会議

個別の支援困難ケースについて検討し、支援ネットワークを構築した。

開催回数 21回/年

○定期地域ケア会議

地域における多機関とのネットワーク構築、連携に取り組んだ。事例を交えて地域課題と孤立防止について検討した。

見えてきた課題のまとめ 開催回数 3回/年

事例検証 開催回数 1回/年

○自立支援型ケアマネジメント検討会議

介護予防サービスを利用する高齢者の生活の質の向上に向け、多職種で様々な観点から検討を行い、地域に不足する資源等の行政課題の発見・解決に向けての検討を行った。

開催回数 12回/年

課題のまとめ 1回/年

②地域・関係機関との連携強化の取り組み

○関係機関と「孤立防止」に向けて現状の共有や必要な取り組みを検討した。

(4月 定期地域ケア会議)

内 容：グループワーク～孤立死事例より各機関の対応方法・対策を検討～

日 時：令和4年4月27日(水) 午後2時～3時30分

場 所：浪速区社協2階 多目的室

参加者：19名

民生委員、警察、消防、区役所保健福祉課・生活支援課、

区内3ブランチ、見守り相談室、生活支援コーディネーター、

区社協、地域包括支援センター



○浪速区生活支援担当新任者研修の実施

生活保護世帯高齢者の相談が多いため、生活支援課のケースワーカーへの研修を一昨年度から引き続き実施し、連携強化を図った。

内 容：「高齢者支援について」

日 時：令和4年7月6日（水） 午後3時45分～4時50分

場 所：浪速区役所5階にて

参加者：14名

区役所生活支援課、保健福祉課担当係長、ランチ、地域包括支援センター、オレンジチーム

○障がい者支援部門と高齢者支援部門との連携

内 容：障がい者支援部門 高齢者支援部門連携について

日 時：7月20日（水）午後1時30分～2時30分

場 所：区役所7階会議室

参加者：25名

区役所（障がい者担当、高齢者担当、つながる体制推進員）、自立支援相談支援部会、障がい者基幹相談支援センター、ランチ、地域包括支援センター、オレンジチーム

○セブンイレブンとの連携に向けた取組み（市との地域活性化包括連携協定）

目 的：まず本部の営業担当者と、区役所（保健福祉課）、区社協・包括との顔の見える関係づくりを行う。店舗との連携を図り、支援を必要としている人の早期発見・早期対応につなげる。

内 容：浪速区の現状と各事業の説明（顔の見える関係づくり）

日 時：令和5年1月24日（火）午後3時～

場 所：オンライン（ZOOM）、区社協1階

参加者：21名

セブンイレブン・ジャパン、
区役所保健福祉課、区社協、包括



○老人センター「身体測定」出張相談

内 容：身体測定（身長、体重、握力、前屈、血圧）、
健康・介護相談を実施し、高齢者の相談窓口の周知を行う。

日 時：令和5年2月3日（金）午前10時30分～12時

参加者：32名

地域住民、浪速区健康づくり協議会、区役所保健活動保健師、老人センター、ブランチ、オレンジチーム、地域包括視線センター

○「浪速区地域見守り会議」の開催

目 的：高齢者の孤立防止のため、区役所と区社協が主催する
「地域見守り会議」について協働し、地域とのつながりや見守り活動を推進する。「気づく」「つなぐ」「話しあう」の3つの重要性について考え、地域の情報交換を通して連携強化を図る。

内 容：地域における見守り活動について（情報共有、マッピング）

日 時：令和5年2月10日（金）午後6時30分～7時30分（大国地域）

令和5年3月16日（木）午後6時30分～7時30分（塩草地域）

参加者：大国地域40名

塩草地域37名

地域で見守り活動をしていただいている地域関係者、地域福祉サポーター、区役所、区社協、見守り相談室、ブランチ、地域包括支援センター、オレンジチーム



○地域と高齢者とのつながりを作る社会資源の情報提供

「高齢者の便利帳」「浪速区わになるなにわ地域マップ」の作成
包括・ブランチニュースの発行（年3回）

①安心して在宅で過ごせる医療・介護の連携体制構築の取り組み

○多職種連携のための会議へ参加

- ・居宅介護支援事業者連絡会と幹事会の参加・開催支援（毎月）
- ・浪速区在宅医療・介護連携推進会議（隔月）
- ・浪速区在宅連携協議会（年4回）
- ・地区民生委員・児童委員協議会（必要時随時）、総務部会（年1回）

- ・地域福祉サポーター連絡会（毎月）
- ・ランチ連絡会議の開催（毎月）
- ・生活支援体制整備事業協議体会議（年2回）
- ・浪速区キャラバンメイト連絡会（毎月）
- ・地域等との関係づくり（随時実施…69回/年）

（４）包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者が地域で暮らし続けることができるよう、関係機関との連携・協働の体制づくりや介護支援専門員への支援を行った。

○介護支援専門員からの相談延べ件数 1,847件/年

○介護支援専門員の情報交換、研修会の開催

連絡会・幹事会等の開催支援：16回、介護支援専門員への研修会：6回

○「医師とケアマネジャー連絡会」の開催

医師とケアマネジャーが一堂に会して研修を受講し、ACP（人生会議）をテーマに意見交換した。

内 容：ACP（人生会議）について

講話・ACPに関するアンケート報告、事例検討・意見交換

日 時：令和4年11月26日（土）午後2時～4時

場 所：区社協 2階

参加者：39名

浪速区医師会員、ケアマネジャー、地域包括支援センター



（５）介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業を含む）

要介護認定を受け、要支援1・2と判定された利用者等に対し、介護予防・生活支援サービス計画書（ケアプラン）を作成し、利用者・家族の同意を得た後、適切にサービスが提供されるよう連絡調整を行った。

○令和4年度新規契約数・・・197件

○令和5年3月末現在の介護予防支援（第1号介護予防支援事業含む）

居宅介護支援事業所への一部委託：638件/月（令和5年3月末現在）

自包括作成：1件/月（令和5年3月末現在）



(6) その他独自の取組み「わになろなにわ健康塾」

コロナ禍で外出自粛が続く中、個人で健康づくりに取り組むきっかけ作りとして、区社協・大阪府作業療法士会と協働して「わになろなにわ健康塾」を令和2年度から浪速区社協独自で開催しており、令和4年度も開催した。

目的：体力測定や認知機能検査等とおして、参加者ご自身のココロとカラダの状態を知っていただき、より効果的な健康づくりに向けて、目標をもって生活することの大切さを学ぶ。

開催日：10月18日（火）、11月15日（火）、
12月20日（火）、令和5年1月17日（火）
午前10時～/午後2時～

講師：大阪府作業療法士会

場所：浪速区社会福祉協議会2階

参加者：地域住民20名

☆令和2年度、3年度の修了者が、健康塾のサポーターとして活躍してくださった。



(7) 認知症高齢者支援（認知症強化型包括）

増加する認知症高齢者について、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、関係機関とともに支援を行った。また、認知症について区民に啓発を行った。

○令和4年度 認知症講演会&在宅医療講演会 つながろうご近所さん part 8

内容：第1部映画上映

「ぼけますから、よろしくお願ひします～おかえりお母さん～」

第2部講演「ACPについて」

講師：浪速区医師会副会長 藤吉理夫 医師

日時：令和5年3月7日（火）

午後2時～4時15分

場所：浪速区民センター ホール

参加者：119名

地域住民、民生委員、医師会、歯科医師会、
薬剤師会、区役所、キャラバンメイト連絡会、地域福祉サポーター、
区社協、ランチ、地域包括支援センター、オレンジチーム



○認知症の人とその家族への支援ネットワーク

- ・地域住民向け認知症地域学習会の開催 10 回
- ・キャラバンメイト連絡会との協働で認知症サポーター養成講座 7 回
- ・認知症高齢者探索模擬訓練の開催（大国地区民生委員・児童委員）
- ・認知症講演会と実行委員会の開催（医師会主催）
- ・浪速区介護家族の会「なでしこ家族会」への参加
- ・認知症カフェ「オレンジカフェなにわ」等への協力
- ・農園事業「いろどりファームなにわ」と
認知症当事者「歩みの会」への協力



2 家族介護支援事業

在宅で介護している家族を対象に、在宅介護に関する情報交換を行う機会の提供や、家族介護者の介護負担の軽減及び心身のリフレッシュ、家族介護者及び地域住民の交流を図った。

○なにわ家族介護者教室

内 容：第1部「知っておきたい‘介護施設’のこと」

第2部「三線の音色でリフレッシュ」

日 時：令和4年11月9日（水） 午後2時～3時30分

場 所：浪速区民センター ホール

参加者：35名

地域住民、ブランチ、地域包括支援センター、オレンジチーム



VI 認知症初期集中支援推進事業（浪速区オレンジチーム）

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症診療・ケアの経験豊富な医師と医療・介護福祉の専門職で構成する認知症初期集中支援チームがご本人やご家族、地域関係者、介護関係職員などからの相談を受け、チーム員が訪問を行った。

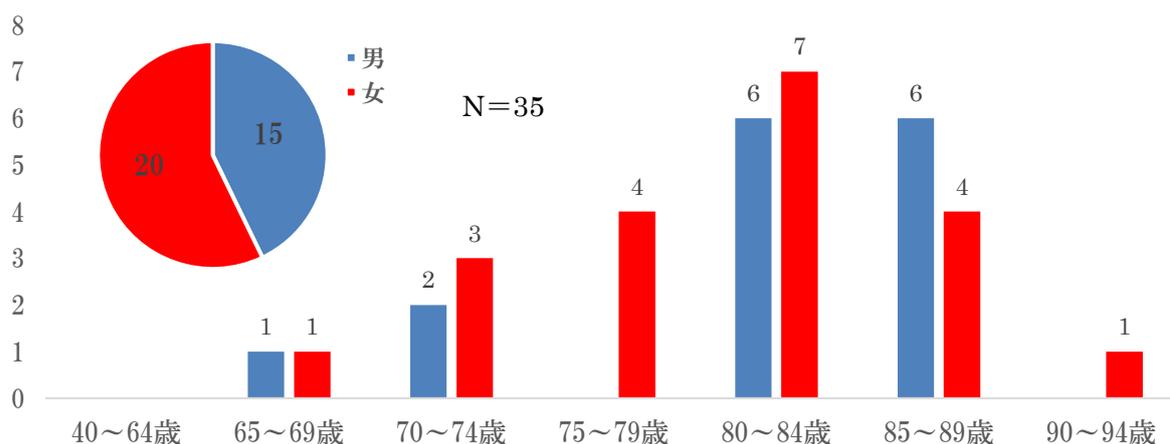
適切な医療や介護サービス等に結びついていない認知症の疑いのある方及びその家族を訪問し、状況の把握や受診勧奨、家族サポート等、ひとりひとりの状況に合わせて支援の方向性を検討し、ご本人やご家族の自立した生活のサポートを集中的に行なった。

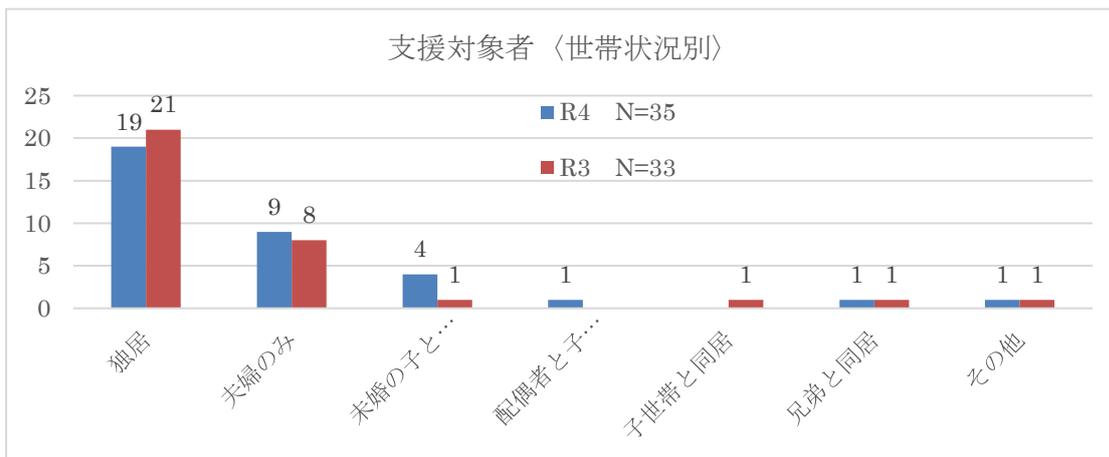
1 認知症初期集中支援対象者

今年度の新規対象者35件（男性：15名、女性：20名）で、相談件数は76件であった。今年度は家族からの相談が多かった。前年度は男性75歳～79歳が一番多かったが、今年度は男性・女性ともに80歳～84歳が一番多い。男性の85歳～89歳も多くなっている。

支援対象者《男女 年齢階層別》

令和5年3月31日現在





昨年度は支援対象者33名のうち、独居世帯が21名と63.6%を占めたが、今年度は支援対象者35名のうち、独居世帯が19名と54.3%と減少傾向。未婚の子と同居が昨年度1名だったが、今年度は4件と増加している。

今年度は家族(同居家族・別居家族)からの相談が多かった。

2 会議開催状況

コロナ禍のためオンライン会議も活用した。

◇チーム員会議 (チーム員とチーム員医師が支援方針や支援内容の検討を行う会議)・・・12回
 オンラインにて4回 会場にて8回

◇関係者会議 (区内の関係者が参加し、初期集中支援事業の実績を共有すると共に課題や連携・広報普及啓発について検討を行う会議)・・・2回

◇認知症施策推進会議(医師会、区役所、認知症強化型包括の主催により、地域課題等の共有・意見交換・取り組みの方向性検討を行う会議)・・・2回

3 周知活動にかかる取り組み

今年度新しくチラシを作成し、地域の集まりの場・食事サービス、元気はつらつ教室、病院、薬局、銀行、郵便局等を中心にチラシ・ポケットティッシュを用いて周知活動し、置いていただけたところにはチラシ設置を行った。

- ・元気はつらつ教室 12ヶ所 ・介護施設 23ヶ所
- ・薬局 32ヶ所 ・地域の集まりの場 10ヶ所
- ・病院関係 7ヶ所 ・郵便局 8ヶ所 ・企業 6ヶ所



- ・認知症サポーター養成講座 4ヶ所
- ・会議2ヶ所、その他 16ヶ所
- ・市営住宅 1ヶ所 全戸配布

今年度認知症ケアパスが完成し、その配布と事業説明認知症の方の情報提供の依頼を行った。

第30回 なにわふくしふれあい広場にて、「なにわオレンジ川柳大会」を掲示し、オレンジチームのチラシ・認知症ケアパスの配付を行った。



4 認知症地域支援推進員にかかる取り組み

(1) 若年性認知症等の支援困難症例への対応

- ・支援ケース(支援進行中)：2名

【内訳】若年性認知症支援ケース：1名 支援困難症例ケース：1名

(2) 地域の認知症対応力向上にかかる業務

○認知症カフェ運営・開催の側面的支援

今年度、新たに1か所認知症カフェを立ち上げることが出来た。

コロナ禍で例年通りの開催には至らず、情勢に応じて中止とする月もあったが、開催時は感染予防対策を講じながら実施された。

認知症アプリを活用し、カフェ開催日時、中止連絡等をアプリにアップして開催状況を多くの人に周知できた。

- ・オレンジカフェなにわ：チラシの作成や周知、カフェ開催時の準備、専門的な相談支援を行った。
- ・なにわクラフトカフェ：コロナ禍で飲食が中止となったが、カフェ開催時に専門的な相談支援ができる体制を確立した。
- ・オレンジカフェここから：開催場所がコロナ禍で使用できないため中止している。
- ・オレンジカフェ大国：チラシの配布や周知、カフェ開催時の専門的な相談支援を行った。
- ・オレンジカフェそんぼの家：立ち上げの支援をおこない、チラシの配布や周知、カフェ開催時の専門的な相談支援を行った。



<認知症カフェ連絡会>

各認知症カフェの情報共有をおこなう機会となるとともに運営上の悩みや工夫等、意見交換の機会にもなった。

日 時：11月12日(土)午後3時半～5時

場 所：浪速区社会福祉協議会 2階

参加者：浪速区内各認知症カフェ代表者 10名

内 容：各認知症カフェの情報交換等



○認知症啓発として

- ・元気はつらつ教室に於いて、認知症の基礎知識や認知症予防等をテーマに講義を行った。
- ・区役所の生活支援課の新任者研修でオレンジチームの説明を行った。また地域見守り会議、家族介護者教室に協力・参加した。
- ・アルツハイマーデー啓発活動の一環として

「なにわオレンジ川柳大会」を行い、140句の川柳が集まった。昨年度は40～80歳代の応募が多かったが、今年度は20～50歳代と若年層の応募が多かった。区役所・老人福祉センター・区民センター・スポーツセンターにて作品の掲示を行い、多くの市民に周知を行った。



<夏のボランティア体験>

地域支援担当とともに小中学生向けの夏のボランティア体験時に、認知症サポーター養成講座を開催して、認知症啓発を行った。コロナ禍で参加者は少なかったが、若い世代に認知症について正しい理解をしてもらうことができた。

日 時：8月2日(火)午後2時～3時半

場 所：日本橋南振興町会集会所

参加者：7名 ボランティア6名

内 容：認知症講座、車いす体験、認知症〇×クイズ



< 大國地区民児協 認知症高齢者搜索模擬訓練 >

区役所・区社協・見守り相談室・包括とともに参加する

日 時：9月5日(月) 午後5時～6時半

場 所：大國小学校

参加者：22名

内 容：2班(各5人)に分かれて民生委員の方が、認知症役に扮した職員に声掛けのロールプレイを実施



○認知症ケアに携わる多職種協働のための研修会として

専門職向け認知症研修会として強化型包括と連携し研修会を開催した。主に区内の医療や介護・保健等の関係機関の専門職対象にオンラインにて開催し、認知症対応力の向上を図った。

日 時：10月20日(金) 午後2時～4時

場 所：ZOOMでのオンライン開催 (配信は浪速区社会福祉協議会)

参加者：44名

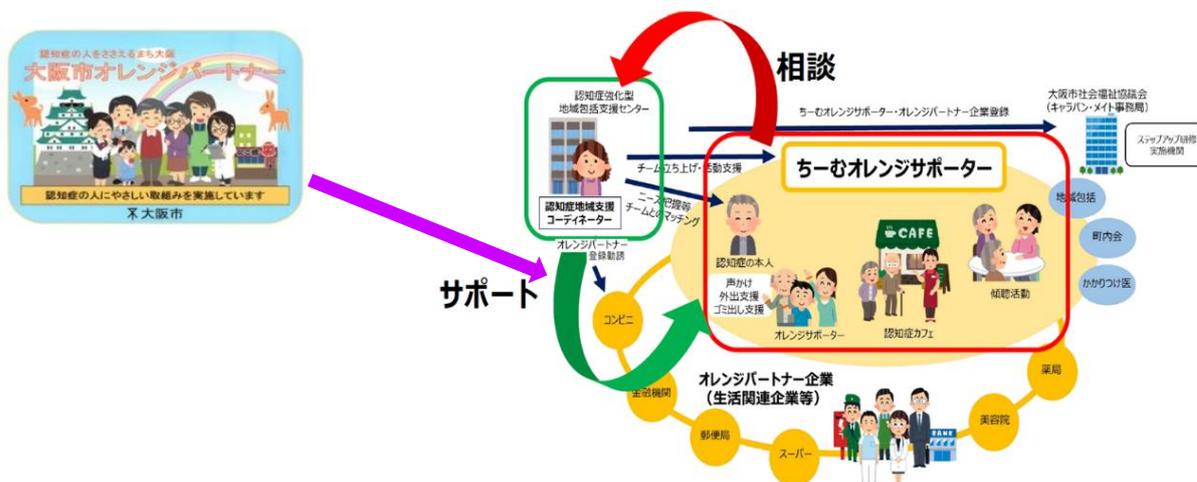
内 容：「身寄りのない認知症の方への金銭管理支援」

講 師：弁護士 青木 佳史 先

VII オレンジサポーター地域活動促進事業

地域において認知症の人やその家族の身近な困りごととオレンジサポーターをつなげる仕組みである「ちーむオレンジサポーター」を構築して、認知症の人やその家族に対する支援の充実と認知症サポーターの活躍の場(ちーむオレンジ)の立ち上げをした。

また、認知症の人が地域で安心して暮らし続けることができるように、認知症の人の支援に関する社会貢献活動を行う企業・団体等を「オレンジパートナー企業」として登録し、認知症の人が安心して生活できるまちづくりに取り組んだ。



1 登録数

オレンジパートナー企業登録数	28件
ちーむオレンジ登録数	4件

2 周知活動にかかる取り組み

事業の広報・周知をオレンジチームと連携し、地域住民・医師会・歯科医師会・薬剤師会・郵便局・施設等へ行った。また企業・団体へ個別訪問を行い、オレンジパートナー企業の登録勧奨を行った。

キャラバンメイト連絡会と連携して認知症サポーターの把握を行い、認知症サポーター養成講座の際に事業説明を実施した。

認知症サポーター養成講座受講者へステップアップ研修の受講案内を行い、浪速区内のオレンジサポーターの養成を行った。

3 ステップアップ研修

大阪市社会福祉協議会 キャラバンメイト事務局がステップアップ研修を開催し、サテライト型で本部と各区の会場をオンラインでつないで研修をしました。認知症地域支援コーディネーターとして、研修の周知をし・会場設営、当日の講座の進行を行った。

日 時：9月1日(水) 午後1時～5時

場 所：浪速区社会福祉協議会

参加者：10名

4 ちーむオレンジ立ち上げ・後方支援

今年度は4チームのちーむオレンジを立ち上げることができた。

- ・農園事業 「いろどりファームなにわ」

日 時：毎月第3金曜日 10時半～12時

場 所：浪速区老人福祉センター 裏庭

活動者：10名



- ・当事者会 「歩みの会」

日 時：毎月第4火曜日 午後1時半～3時

なでしこ家族会と同時開催

場 所：浪速区社会福祉協議会

活動者：6名～10名



- 世代間交流 喫茶サロン 「赤とんぼ」
日 時：毎月第3金曜日 午後2時～4時
場 所：敷津東住宅 集会所
活動者：20名



- ゴミ出し声掛け活動 「すずめの教室」
日 時：毎週火・金曜日 午前8時～11時
場 所：浪敷津東住宅 ゴミ捨て場
活動者：8名

VIII 老人福祉センター管理運営事業

平成18年度に指定管理者制度が導入されて以来、区社協が指定管理者に選定されてきた。令和4年度は4回目の指定管理期間（令和元年度～5年度）の4年目として、高齢者の「生きがづくり」「健康づくり」「世代間交流」を目指した事業運営を展開した。また地域福祉活動の視点に立った、高齢者のニーズに即した事業を積極的に実施するとともに、老人クラブへの支援をはじめとした、高齢者の自主的な活動への支援を行った。

1 令和4年度利用状況

(1) 利用登録者数

男性 49名 女性 125人 計 174人

(2) 個人利用者数

	年齢別				計
	60～69歳	70～79歳	80歳～	その他	
男	676人	3,920人	3,002人	314人	7,912人
女	1,692人	6,727人	10,890人	426人	19,735人
計	2,368人	10,647人	13,892人	740人	27,647人

(3) 団体利用者数

利用回数 59回 男性 156人 女性 499人 計 655人

2 事業内容

(1) サークル活動支援などの生きがづくり活動

①サークル活動支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止策（以降、感染症拡大防止策と略する）から、一部のサークルが活動を休止したが、詩吟、カラオケ、民謡、実用習字、手芸、書道、健康体操、太極拳、卓球、民踊など16のサークルの自主運営活動を支援した。加えて、センター事業として「ウクレレ体験」を実施した後、利用者からの要望を受けて、サークル活動の前段階として「ウクレレ同好会」（6回56人）を実施した。感染症拡大防止策、夏フェス、文化祭についての意見や要望を確認する場として「世話役会」を2回開催した。猛暑に加え、感染症拡大防止の大阪モデルで赤信号が点灯したことから8月度のサークル活動は休止することとし、利用者の理解、協力を得た。

②生きがづくり講習会、生きがい探究講座等の開催

関係機関の協力を得て“認知症カフェ”の要素を織り込み、相談を受けるとともにクラフト＝手作り工作を行う「なにわクラフトカフェ」を継続した。クラフトを通じて「自尊感情」「自己達成感」を感じることができるよう、あたたかな取組みとなるよう心がけ、コロナ渦においても年間11回、147人の参加とできた。なお、感染症拡大防止策からカフェは休止した。

令和4年度『なにわクラフトカフェ』年間開催結果						
月	日	男性	女性	計	内容	備考
4	13	4	27	31	花作り カーネーション	
5	11	6	13	19	プラバン キーホルダー	
6	8	1	12	13	ステンシル あじさい	
7	13	4	13	17	ステンシル うちわ	
8	5	0	0	0		感染症拡大予防のため中止
9	14	0	13	13	はがき絵	
10	12	0	11	11	(1)染色 ハンカチを染める 藍染 (2)はがき絵	
11	9	1	9	10	(1)染色 ハンカチを染める 藍染 (2)はがき絵	
12	14	1	9	10	クマのマスコット作り	
1	11	0	10	10	はがき絵	
2	8	0	7	7	焼き付け木片かざり	
3	8	1	5	6	小物入れ作り	
合計		18	129	147		

“お楽しみ会”（12回 231人）として、「脳トレ」（10回）に加えて「笑って頭ほぐし」（1回 16人）も実施した。浪速区近傍の寺社が舞台となっている落語「天神山」を題材にしたオリジナルクイズを提供するとともに、地元の寺社に思いを馳せる機会とした。

ボランティア活動として園芸、図書、事業運営のサポート、センターたより作成等の活動を得た。（152回、年間 233人）センターたよりのボランティアは、配布支援の他に、センターたよりを2つ折りにする作業を今年度から協力を得た。

（2）高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

いきいき百歳体操（週2回×2クラス、2, 241人;お楽しみ会の日は1クラス）、ラジオ体操（毎週月～土曜日、3, 691人）を実施した。健康運動指導士の指導による「いきいき百歳体操の効果レッスン」（2回、57人）、「みんなの元気体操」（2回、48人）、「いすにすわってボクササイズ」（2回、37人）に加え、健康づくり講座として「整体体操」（24回、287人）、「すこやかマッサージ&ダンス」（24回、433人）、「背骨コンディショニング体操（24回、307人）」、「いすヨガ」（24回、213人）、「歌の会」（6回、132人）等を実施した。仲間づくり、新たに来館しやすい事業として「的あてゲーム大会」、「懐かしの歌でリフレッシュ」、「小さな音楽会」、「落語会」等を実施した。口内機能の維持、向上に向けて浪速図書館と共催で「声に出して本を読もう」（年4回）を図書館で開催した。加えて、遠方のために図書館に参加できない利用者を配慮し、センター内で「音読プラス」を開催した。また、安全啓蒙活動として「交通安全講習会」、健康管理活動として「結核のお話と健診」の講座の他、「身体測定」を実施した。

（3）世代間交流事業

子ども・子育てプラザとの合同行事として避難訓練を実施した。世界アルツハイマー月間（9月）にあわせて、川柳の応募と各賞の授賞式をセンター内で開催するとともに、「おじいちゃん・おばあちゃん、僕と私で遊ぼう」を区社協・オレンジチーム、子ども子育てプラザと開催予定であったが、感染症拡大防止策から中止とした。

看護学校からの実習生（26日間、23名）、日本橋中学校から職業体験学習を受け入れ（2日間、3名）、高齢者とのふれあう機会を提供した。

（4）浪速区緑化推進事業への参加

浪速区役所がおこなっている「緑化推進支援事業（種花事業）」の拠点として中庭の提供と散水等の支援を実施した。

3 老人クラブ活動の支援と連携

- ①会員加入促進のため、老人福祉センター利用者に対してクラブの活動を周知。
- ②浪速区老人クラブ連合会「会長会」の定例実施（老人福祉センター大広間等）。
- ③共催事業として、スポーツセンターにてニュースポーツ大会（2回、92人）を実施。

令和4年度 浪速区善意銀行事業報告

【金銭関係】

(金銭保管状況)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前期末支払資金残高	11,606,033		
当年度収入	263,112	当年度支出	902,446
金銭預託(4件)	263,000	金銭払出し(14件)	895,000
預金利息	112	振込手数料	2,016
		次期繰越額	10,966,699
合計	11,869,145	合計	11,869,145

(単位：円)

(金銭預託状況)

預託年月日	預託者 (敬称略)	金額
令和4年4月25日	大和恵みキリスト教会	20,000
令和4年10月2日	浪速区地域振興会	90,000
令和4年10月4日	学校法人大原学園	3,000
令和4年1月25日	今宮戎神社	150,000
合計(4件)		263,000

(単位：円)

(金銭払出状況)

払出年月日	払出先	金額	備考
令和4年8月24日	ボランティア活動応援資金(9団体)	295,000	特定テーマ
令和4年6月6日	社会を明るくする運動	100,000	助成金(一般)
令和4年8月10日	なにわ区民まつり	200,000	助成金(一般)
令和4年10月24日	浪速区成人の日記念のつどい	100,000	助成金(一般)
令和4年12月8日	浪速区こども連合協議会	150,000	助成金(一般)
令和4年12月8日	浪速区こどもカーニバル	50,000	助成金(一般)
合 計		895,000	

【物品預託】

(物品預託状況)

預託年月日	預託者(敬称略)	預託内容
令和4年4月12日	辻本 邦廣	中古野球グローブ、バット等
令和4年4月30日	匿名	消毒液、マスク、介護用消耗品等
令和4年5月19日	匿名	イス×38脚
令和4年5月26日	株式会社クボタ	新米(10kg)×147袋
令和4年6月28日	匿名	食器、花器、盆等 25点
令和4年6月28日	匿名	囲碁・将棋セット、麻省パイ等
令和4年8月19日	上新電機労働組合	車いす2台
令和4年8月24日	ソニースタマールサービス株式会社	フリーズドライビスケット×12箱
令和4年10月11日	匿名	電子レンジ
令和4年10月27日	匿名	オムツ(大人用)
令和4年11月2日	匿名	文房具他
令和4年11月15日	匿名	シルバーカー
令和4年12月1日	大阪市コミュニティ協会浪速区支部協議会	食品
令和4年12月12日	中島 逸郎	お菓子詰合せ

令和5年1月4日	川越 秀夫	ルームランナー
令和5年1月6日	匿名	食器類関係

(物品払出状況)

払出年月日	払出先	払出内容
令和4年4月30日	地域包括支援センター	消毒液、マスク、介護用消耗品等
令和4年5月19日	今池こどもの家	イス×12脚
令和4年5月25日	学習支援ルームコスモス	中古野球グローブ、バット等
令和4年5月25日	今池こどもの家	中古野球グローブ、バット等
令和4年5月25日	御蔵跡振興町会	イス×4脚
令和4年5月25日	浪速連合振興町会	イス×6脚
令和4年5月25日	浪速区老人福祉センター	イス×8脚
令和4年5月31日	浪速区社会福祉協議会	新米(10kg)×147袋
令和4年6月8日	浪速区社会福祉協議会	イス×8脚
令和4年6月28日	浪速区社会福祉協議会	食器、花器、盆等 25点
令和4年7月13日	幸町連合振興町会	囲碁、将棋セット、花札、麻雀パイ
令和4年8月24日	浪速区社会福祉協議会	フリーズドライビスケット×12箱
令和4年10月17日	りんくすケアプランセンター	電子レンジ
令和4年10月27日	地域包括支援センター	オムツ(大人用)
令和4年11月2日	浪速区社会福祉協議会	文具他
令和4年12月1日	浪速区社会福祉協議会	食品
令和4年12月12日	浪速区社会福祉協議会	お菓子詰合せ
令和5年1月11日	浪速区社会福祉協議会	食器類等
令和5年1月20日	社会福祉法人ピースクラブ	ルームランナー

